

(3) 市民・事業者のごみ排出・分別協力意識 について

市民及び事業者意識調査結果(途中経過)

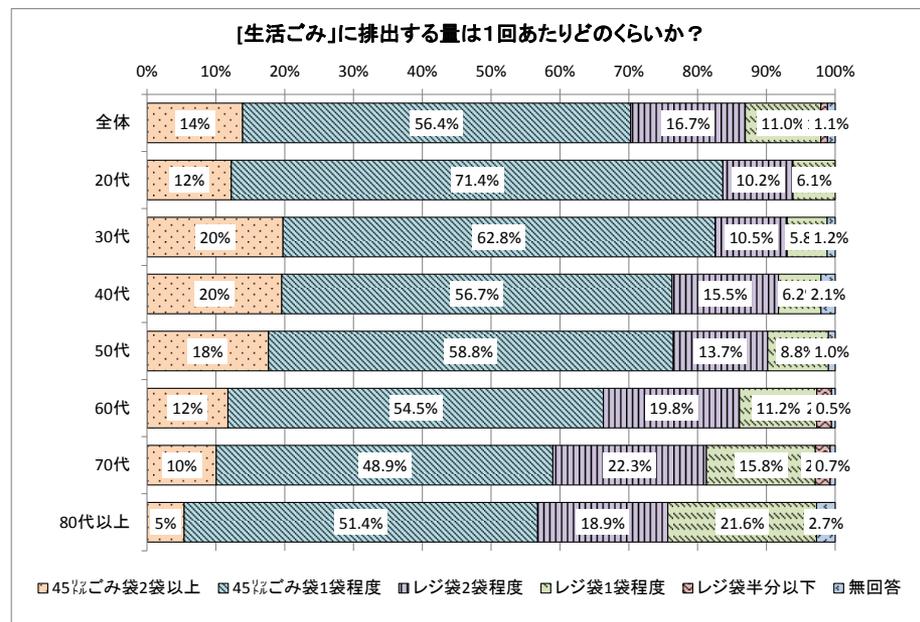
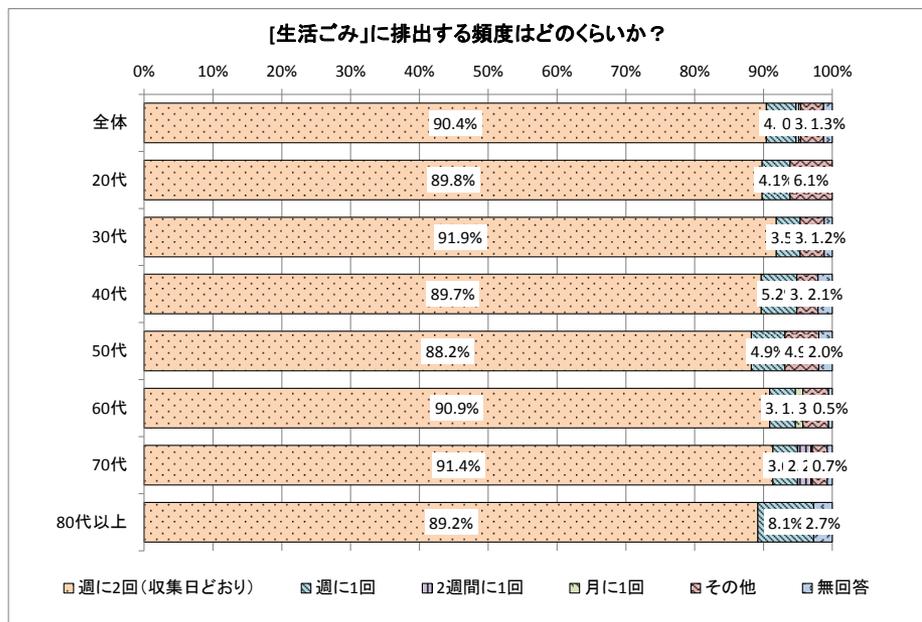
② 市民のごみ排出・分別協力意識等の動向

<目次>

現在のごみ排出、減量、リサイクルへの取り組みについて	2
(1)生活ごみの排出頻度及び量	2
(2)資源ごみの分別について(資源物4品目の分別)	3
(3)資源ごみの分別について(「缶・びん」)	4
(4)資源ごみの分別について(「プラスチック製容器包装」)	4
(5)資源ごみの分別について(「ペットボトル」)	5
(6)資源ごみの分別について(「小型金属」)	5
(7)ごみ減量・リサイクルの取り組み	6

現在のごみ排出、減量、リサイクルへの取り組みについて

(1) 「生活ごみ」の排出頻度及び量



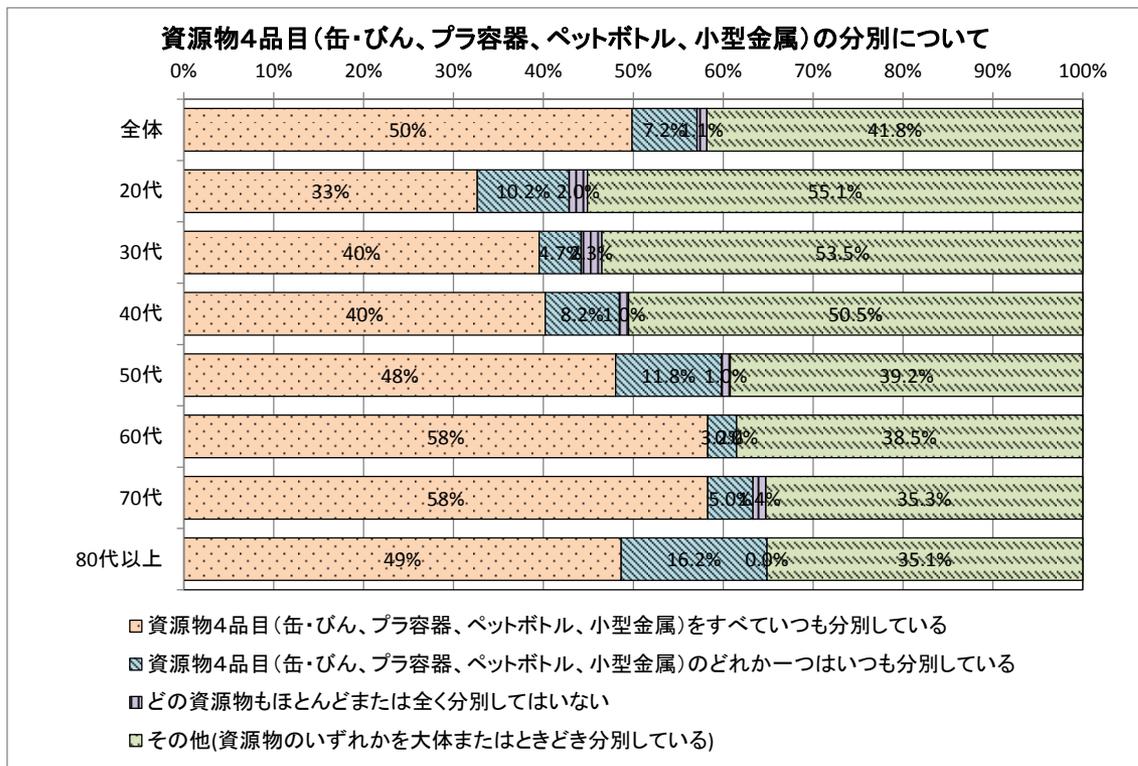
【その他の回答】

回答	件数
毎日	13
2日に1回	3
週に3回	3
有料ごみと一緒に出す	2
その他	3

- 生活ごみの排出頻度は、市全体で見ると収集日どおり(週2回)が90.4%と大部分を占めており、年代別の違いはほとんどない。
- 生活ごみを排出する量は、市全体で見ると「45ℓごみ袋1袋程度」が56.4%と最も多い。年代別にみると、「45ℓごみ袋2袋以上」の割合は、30代、40代が20%程度で最も多く70代は10%、80代以上は5%と少なくなっている。

現在のごみ排出、減量、リサイクルへの取り組みについて

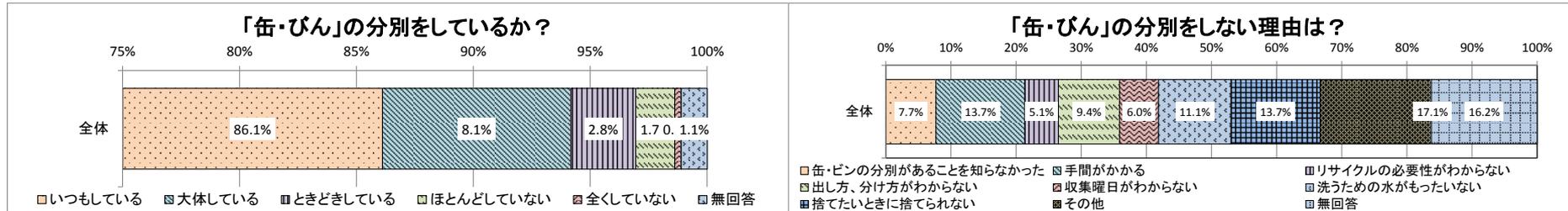
(2) 資源ごみの分別について(資源物4品目の分別)



- 1.資源ごみの4品目(缶・びん、プラスチック製容器包装、ペットボトル、小型金属)すべてをいつも分別している割合は市全体で見ると50%で、年代別にみると60代、70代が58%と最も多く、逆に20代が33%と最も少なくなっている。
- 2.どの資源物もほとんどまたは全く分別していない割合は市全体で見ると1.1%で、20代、30代がそれぞれ2.0%、2.3%と他の年代より多かった。

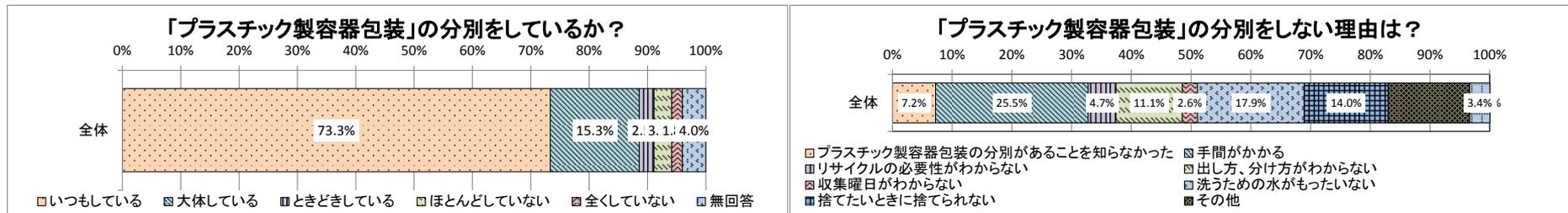
現在のごみ排出、減量、リサイクルへの取り組みについて

(3) 資源ごみの分別について(「缶・びん」)



- 1.「缶・びん」の分別については86%がいつも分別していると回答。
- 2.分別をしない理由は「手間がかかる」、「捨てたいときに捨てられない」が13.7%と最も多い。

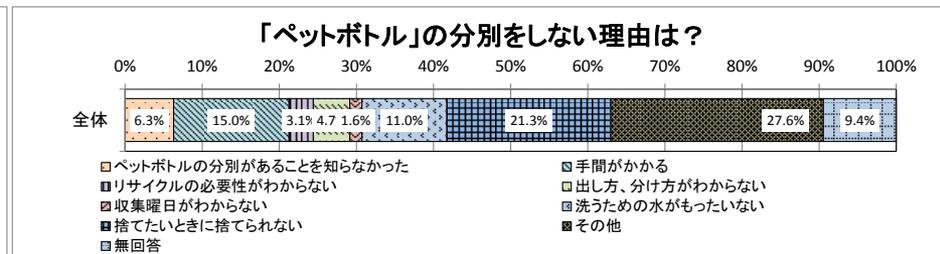
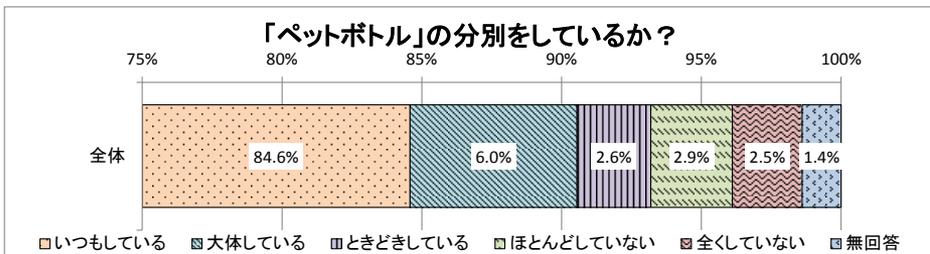
(4) 資源ごみの分別について(「プラスチック製容器包装」)



- 1.「プラスチック製容器包装」をいつも分別している割合は73%で「缶・びん」(86%)よりも低い。
- 2.分別をしない理由は、「手間がかかる」が25.5%と最も多く、次いで「洗うための水がもったいない」が17.9%と多い。

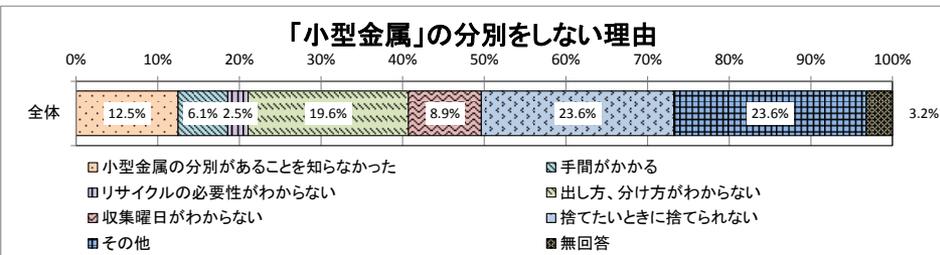
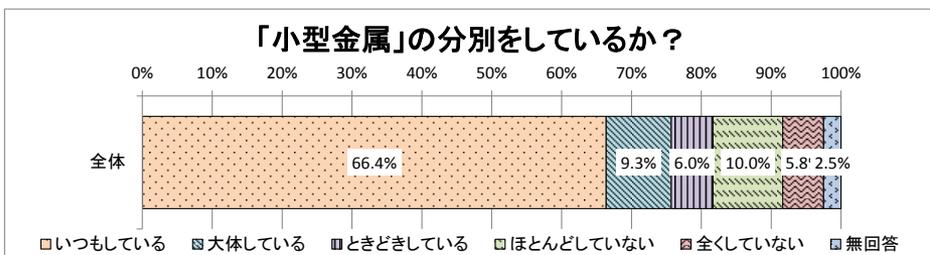
現在のごみ排出、減量、リサイクルへの取り組みについて

(5) 資源ごみの分別について(「ペットボトル」)



- 1.「ペットボトル」をいつも分別している割合は85%で「缶・びん」とほぼ同様の割合。
- 2.分別しない理由は、「捨てたいときに捨てられない」が21.3%と最も多く、次いで「手間がかかる」が15.0%。

(6) 資源ごみの分別について(「小型金属」)

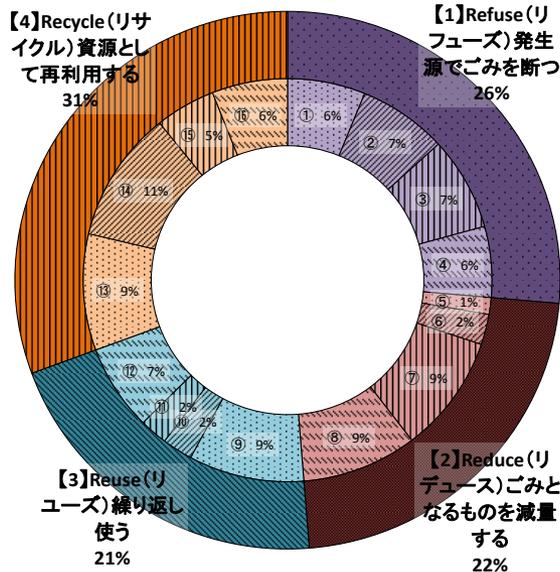


- 1.「小型金属」をいつも分別している割合は66%で資源ごみ4品目の中では最も少ない。
- 2.分別しない理由は、「捨てたいときに捨てられない」が23.6%と最も多く、次いで「出し方、分け方がわからない」が19.6%。

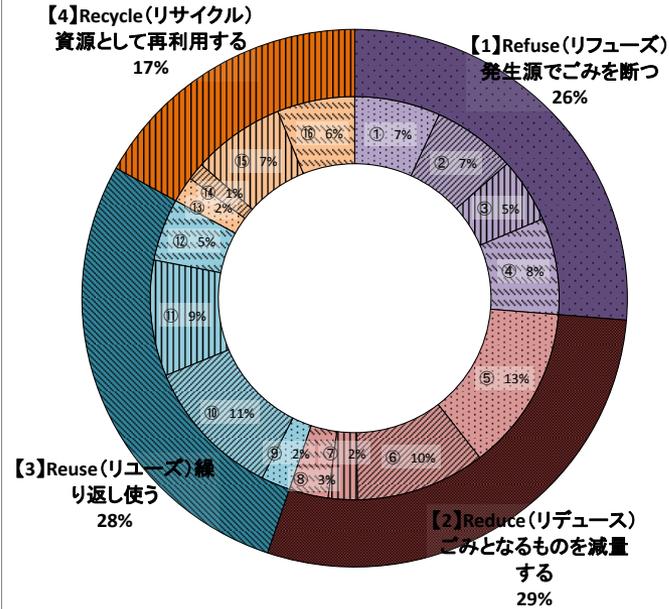
現在のごみ排出、減量、リサイクルへの取り組みについて

(7) ごみ減量・リサイクルの取り組み

普段から行っているごみ減量・リサイクルの取組



新たに取り組もうと考えているごみ減量・リサイクルの取組



- ① コンビニなどで使い捨てのフォークや割り箸などを断る
- ② マイバッグを利用するなど、レジ袋を断る
- ③ 過剰包装を断る
- ④ 不要なダイレクトメールを断る
- ⑤ マイ箸やマイカップを持ち歩くなど、お店で使い捨て製品を使わないようにする
- ⑥ パックに入っていないバラ売りの商品を選ぶ
- ⑦ 食べ残しをしないようにする
- ⑧ 「買った食材を使いきる、残さず食べきる、生ごみを出す前に水を切る」をしている
- ⑨ 詰め替え商品を購入する
- ⑩ 不要になった物をフリーマーケットやリサイクルショップ、ネットオークション等で売る
- ⑪ フリーマーケットやリサイクルショップ、ネットオークション等で買い物をする
- ⑫ 家電製品などが故障したときは修理をして、長期間使う
- ⑬ 古紙や古布などを地域の集団回収に出す
- ⑭ ごみを分別している
- ⑮ 食品トレー・紙パックなどをスーパーの店頭回収にだす
- ⑯ 再生紙でできたトイレットペーパーなど、再生品を買う

その他取り組んでいるごみ減量・リサイクル行動	件数
不要な物は買わない	20
生ごみなどは、庭や畑に埋め肥料にする(コンポストを利用)	20
ペットボトルキャップの回収	6
古布・古着をリメイクする	6
ディスプレイを利用する	4
漬す・小さく切るなどして、小さくして出している	4
料理で捨てる物をなくす	4
服や靴は、リサイクルや貰ったり譲っている	3
焼却炉で燃やす	3
アルミ缶は障害者作業所に出している	1
紙箱等は、小さくたたんで廃品の時に新聞や本等と一緒に出す	1
コーヒーショップに行った時は、タンブラーに入れてもらう	1
手編みのスポンジを使っている	1
できる限り廃品回収業者に頼んでいる	1
布おむつを使っている	1
日頃から部屋の整理整頓に努める	1
ペットボトル・缶は籠に入れて出し、中味のみ収集してもらっている	1
ペットボトルは水筒として洗って再利用している	1
その他(要望など)	20

1. ごみ減量・リサイクルの取り組みについて4RのRごとに同数の設問を4R区分を示さずにランダムに並べ替えてアンケートを行った。普段から行っている取り組みではリサイクル行動が31%と多いが、他の3R(リフューズ、リデュース、リユーズ)行動は21~26%とほぼ同程度の割合。
2. 新たに取り組もうと考えている取り組みでは、リサイクル行動の割合が17%、リデュースが29%、リユーズ28%。